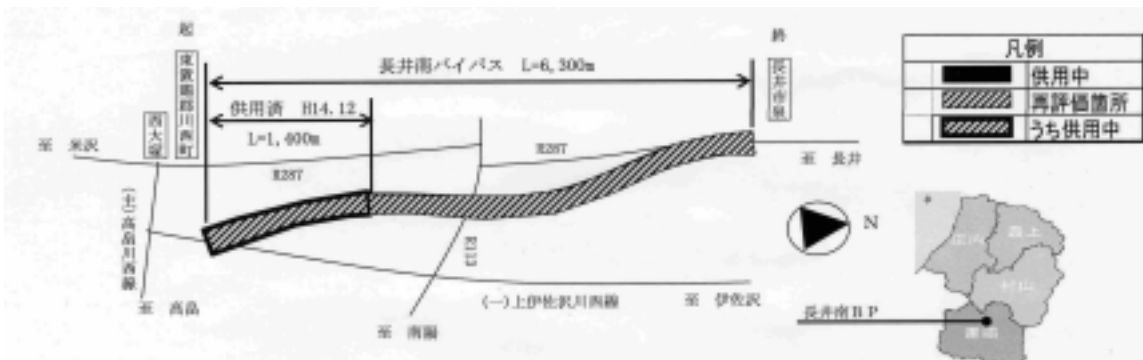


## 再評価結果（平成19年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課  
担当課長名：木村 昌司

<b>事業名</b> 一般国道287号 <small>ながいみなみ</small> 長井南バイパス	<b>事業区分</b> 一般国道	<b>事業主体</b> 山形県
<b>起終点</b> 自：山形県東置賜郡川西町西大塚 至：山形県長井市泉	<b>延長</b> 6.3 km	
<b>事業概要</b> 当該事業区間の現道は、主要幹線道路であるにもかかわらず、幅員が狭く線形も悪いため、バイパス整備により幅員狭小(6.0m 14.5m)、国道113交差部のクランクの解消を図り、安全で円滑な交通を確保するとともに、地域間の連絡時間の短縮およびネットワークの強化を図るものである。		
H9年度事業化	H11年度用地着手	H12年度工事着手
<b>全体事業費</b> 7.4億円		<b>事業進捗率</b> 6.2%
<b>計画交通量</b> 16,900台/日（暫定2車線時）		<b>供用済延長</b> 1.4 km
<b>費用対効果分析結果</b> B/C (事業全体) 2.2 (残事業) 5.5	<b>総費用</b> (残事業)/(事業全体) 33/85億円 (事業費：27/77億円) (維持管理費：6/8億円)	<b>総便益</b> (残事業)/(事業全体) 183/185億円 (走行時間短縮便益：130/130億円) (走行費用減少便益：39/39億円) (交通事故減少便益：15/16億円)
<b>基準年</b> 平成18年		
<b>事業の効果等</b> ・円滑なモビリティの確保（現道等における混雑時旅行速度が20km未満である区間の旅行速度が改善） ・安全で安心できるくらしの確保（三次医療施設へのアクセス向上）		
他4項目に該当		
<b>関係する地方公共団体等の意見</b> 「大塚地区整備促進協議会」「河井地区促進協議会」「新白川橋（仮称）架橋建設促進期成同盟会」が設立され、早期整備を要望されている。		
<b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b> 平成12年に、第三次救急医療施設である公立置賜総合病院が開業した。 一般国道113号梨郷道路（地域高規格道路 直轄事業）が事業化に向け、「調査区間」となった。		
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b> 平成14年度に起点側(L=1.4km)を部分供用している。平成18年度までの用地進捗率96%、工事が43%である。主な残事業は、置賜白川を渡河する橋梁工および改良舗装工が残っている。		
<b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b> 用地取得に時間を要し、事業進捗に遅れが生じたが、平成18年度までに用地買収が概ね完了している。今後は残る用地の早期買収と工事の早期完成を目標としている。		
<b>施設の構造や工法の変更等</b> 国道113号との交差形式を見直し（立体交差から平面交差に変更）、コスト縮減と整備効果の早期発現を図っている。		
<b>対応方針</b> 事業継続		
<b>対応方針決定の理由</b> 以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。		
<b>事業概要図</b>		
		

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。